

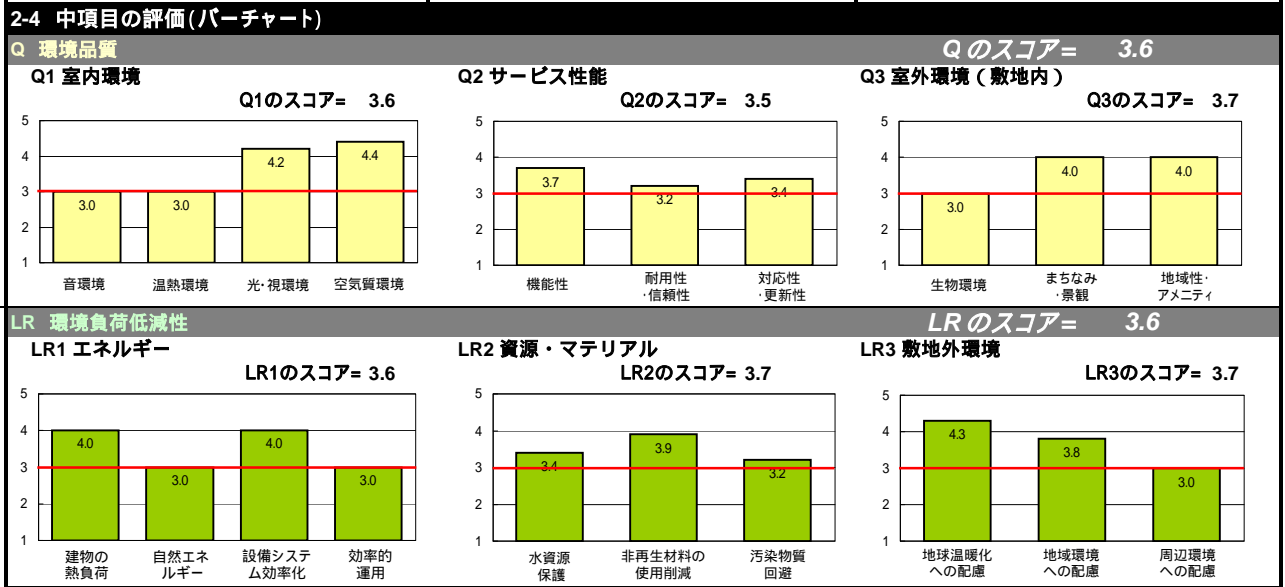
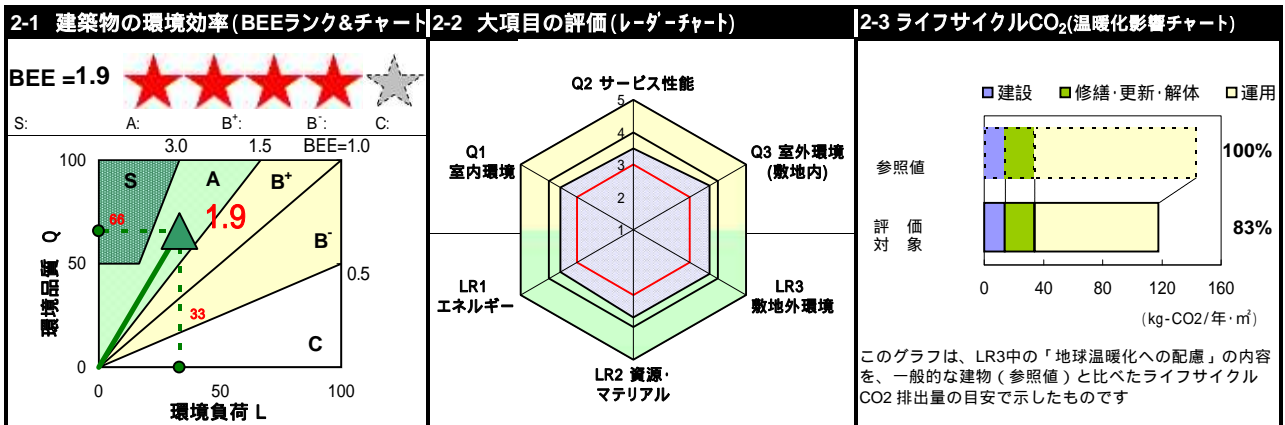
# CASBEE 新築 [簡易版]

# 評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築 (簡易版) 2008年版 使用評価ソフト: CASBEE-Ncb\_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	横浜地家裁横須賀支部	階数	地上5F
建設地	神奈川県横須賀市新港町1番9	構造	SRC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	825 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	2,100 時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年9月 予定	評価の実施日	2011年11月11日
敷地面積	4,000 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社 山下テクノス
建築面積	1,522 m <sup>2</sup>	確認日	2011年11月11日
延床面積	5,766 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社 山下テクノス

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 室内環境として利用者の利便性、健康性を考慮しバリアフリーへの配慮を行うとともに、館内全面禁煙化を計画している。また外皮性能に配慮し負荷の低減を図っている。室外環境としては、敷地内に豊富な緑地を計画し良好な景観、環境を形成するとともに自転車置き場や適切な駐車スペースを確保し利用者の利便性を図っている。また節水への取り組みにより水資源の保護を図っている。		<b>その他</b> 特に無し
<b>Q1 室内環境</b> 室内空気質を保つために内装材のほぼ全面にFを採用し、発生源対策を行っており、館内は全面禁煙としている。外皮にはLow-eガラスの採用、適切な断熱施工を行い、外皮性能に配慮している。	<b>Q2 サービス性能</b> バリアフリーの配慮をしている。設備配管に長寿命機種を使用し更新必要間隔が長い。電気・通信設備の地下への設置を避けるなど信頼度の高い取組みをしている。25%増しの耐震性を有し、一人あたりの執務スペース、天井高さが充分ある。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 敷地の植栽条件に応じた適切な緑地づくりをしている。また、緑地を設けることで景観にも配慮している。
<b>LR1 エネルギー</b> 外皮に断熱材・Low-eガラスを使用し建物の熱負荷の低減を図っている。空調システム、照明システムの高効率化を図っている。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 省水型機器を使用し水資源の保護を図っている。躯体と仕上げ材の別が比較的容易で、再利用可能な部材(OAフロア)を採用し部材の再利用の可能性向上に取り組んでいる。ハロン消火剤を使用していない。	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出量の低減を図っている。適切な量の駐輪場・駐車場を確保し建物利用者のための利便性に配慮している。さらに管理用車両の駐車スペースを確保している。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい